

うたごえは平和の力

安保放棄・全面軍縮のうたごえを

国のすみずみに

うたごえ新聞

編集 日本うたごえ
実行委員会
発行 うたごえ新聞社
東京都新宿区
西大久保3の67
電話 (381) 5220-1

1カ月 30円(平共)
3カ月 90円、6カ月
180円、1年350円



日をつつたこえ
全国のすみずみに
あめでと
一九六三・元旦
関鑑子

1962年日本のうたごえ 十周年記念大祭典 特集号

「一九六二年日本のうたごえ十周年記念大祭典」は、今すぐ世界に平和を、郷土のうたごえを、を呼びおこし、民族の魂をよびよこそう。基地撤去、全面軍縮のうたごえを更に高めよう。のストリークの下に、十月九日から千二百まで四日間、全国四万名の代表が参加し東京で開幕。十年間の運動のつみ重ねの上に「郷土のうたごえ」の調期的な成功を始めてとして数々の成果をおさめて閉幕した。

【一九六二年日本のうたごえ十周年記念大祭典】
一九六二年日本のうたごえ十周年記念大祭典は成功裡に幕をおろしました。全国の皆様、本誌に御苦労様とさういいます。日々の活動がこの様に報いられて、全国から参加された方も、ここにお集りの皆様も満足された事と思います。祭典のおを充分に調べて、更に一九六三年にむかって前進しなければなりません。第一日、郷土のうたごえは、沖縄の首領に示された様に、内容、形式ともに新しいものでした。生活節に音楽を、舞踊を生活の角度から活動者自身で表現し、現代の音楽で生き返らせたのですから、本誌に素晴らしいものでした。日本の太鼓の魅力も、今後ますます全国でほりおこされるのが待たれます。豊年おどりは、農民のおおらかな、豊かさを、ユモリがあくどくなく表現され、心からの笑いと音楽がまき起りました。
大音楽会は両日とも、労働者の歌が最も印象的でした。婦人が多いのも特徴、各階層婦人の前進が、歌から伺うことができました。創作曲も「不知火」ほがすくられたものが沢山ありました。

た。荒木さんの歌は、既に多くの人々に愛され、親しまれています。が、もっと多くの人々に宣伝する為、彼の伝記や作品を網羅して歌曲集を作らなければなりません。そして荒木さんを記念して、彼から学び、彼の歌をひろめるために、各地の中心合唱団は、全国で荒木さんの作品による音楽会をひらきましょう。そのための全国的なプランを組む、全国合唱団の共同作業したいと思います。

10・21の共同行動を経て、国民共々うたごえ全体も前進しました。今春、平和と軍縮のためのモスクワ世界平和大会出席して、「今すぐ世界に平和を」を実現するために、日本のうたごえ運動も、力を発揮する時だと痛感しましたが、この祭典その一端が表現されたと思います。皆さんともに、うたごえ十周年をこのように立派に成功をからとったことを祝い、更に共同行動に、この成果を全国にひろめて、更に力強いうたごえを平和への行動に、実際に取りこむ準備にかりましょう。

合唱発表会(九日厚生年金ホール) 参加者二〇〇名。出演団体天
団体。内地域六、職場、中心合唱
団各一五。今年は東京選を始
六地方一産業別選が行われた
とくに職場の部は、量の大を
反映する演奏のすばらしさが目立
ち、地下鉄うたごえ等に典型が示
された。(詳細は一面掲載)
創作発表会(十日、日本青年館)
参加一八〇名。創作コンクール
自由曲、審査委員会推せん三曲
の中より二七団体による三九曲
構成詩一。今年の前進を反映して
三つの基本方針に、しかも各
地の運動がうたわれ、力となった
多様な内容が交流され、自労、医
療の仲間連帯の拍手が渦巻いた
中でも三池の炎を燃えつぐ闘いの
中から生れた構成詩「不知火」は
荒木さんの「我が母の歌」と共に
会場を新たな感動と決意をつん
だ。尚創作コンクール課題曲選
作の表彰、及び荒木さんの創作に
ついての報告(関忠亮先生の)
があつて創作への確信を深めた。
大音楽会(十一、十一日都体育館)
参加者は両日併せて千地方、三七
産業、それに主婦、子供、若い仲
間・高校生・農村を加えて三万
名。来賓としてソビエト大使夫妻
軍縮代表西岡、その他ソ連、
インドネシア、ブルガリアなどの
多くの外国の来賓が参加された。
初参加は自労・航空・印刷・出版
・映画のうたごえ、10・21の統
一行動の成果が、祭典参加者一割
以上の拡大となって示され、とくに
四府一連と団体八団体とな
った。又内容として、10・21のう
たごえ運動をうたったものをあ
くめて三つの創作曲、三つの郷土
のうたごえ、国際子供のうた
とあつて、交通高三三〇名の
「労働者のうた」の大合唱等、平
和の力の前進と結びついた量の大
大と速度が演奏にいよいよ示さ
れ、十年間の運動がなごきひら
いた。又松川・白鳥・朝日歌謡を
ふくむ統一カンパに約十四万円の
募金が寄せられ全員合唱では「キ
ューバーシー」を始め声高らかに
うたわれる中を、来年は大音楽
会を必ず三回以上うたごえを
合して盛大に閉会した。

